

## 車いすISO国際会議の内容

車いすISO国際会議（犬山）は表1に示す内容で開催された。

表1 車いすISO国際会議

名称	ISO/TC173/SC1/WG JAPAN MEETING
開催期日	平成8年5月19日～24日
開催場所	犬山国際観光センター・フロイデ
主催	車いすISO国際会議実行委員会
主管	(財) 自転車産業振興協会
共催	日本車いす工業会
後援	愛知県、犬山市 (社) 日本リハビリテーション医学会 日本リハビリテーション工学協会 (財) 日本規格協会 電動車いす安全普及協会
開催規模	参加国 (9カ国)、アメリカ、イギリス、オーストリア、オランダ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ニュージーランド、日本 海外委員 18名 日本委員 12名 その他臨席者
会議項目	WG1 (試験方法) WG7 (電動車いす制御用標準インターフェース) WG8 (階段移動昇降機) WG10 (電動スクーターと電動車いす電磁的互換性) Ad Hoc会議 Convener会議

WG1 (作業部会1) では、会議前日に AdHoc 会議 (事前会議) が開催され、前回会議 (ロンドン) で懸案となっていた件についての再審議が行われた。AdHoc 会議の結果についてはWG1で報告された。

WG1会議開催当日は、点呼の後、先の会議における議事の承認、議事日程が報告された。ま

た、議事に入る前にヨーロッパ規格、アメリカ規格、オーストリア規格に関する最新事情について各国の代表より報告があった。各国ともISO規格をそれぞれの規格に組み込む方向で進んでいるということであった。

議事については、優先権1の8項目、優先権2の2項目、優先権3の2項目における規格原案に関する見直し、問題点の改善を短時間で図るため3つの小グループに分かれ、それぞれのテーマに沿って審議を行った。その後、WG1の総括として全体会議を開き、優先権1～3のレベルが高い順に議事を進めた。特にこの会議では、①セットアップ手順②静的安定性③耐候性試験についての討議が中心となった。最後に今後の審議の方向性について検討し閉幕となった。

### 優先権1

- ①セットアップ手順
- ②静的安定性
- ③エネルギー消費
- ④シーティングと車輪径
- ⑤強度試験
- ⑥動力と制御
- ⑦情報
- ⑧難燃性

### 優先権2

- ⑨耐候性試験

### 優先権3

- ⑩最高速、加速度、減速度
- ⑪動的安定性
- ⑫ブレーキ効率

